

令和4年度  
放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）



公表：令和5年2月20日

事業所名 サンクスラボ・アフタースクール鹿児島

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			限られたスペースの中でも行える活動を提供しています。	実際の利用人数や活動内容によっては訓練室等のスペースが狭く感じることがあるため、スペースを有効活用できるよう配慮してまいります。
	2	職員の配置数は適切である	○			厚労省・鹿児島県の定める人員配置を満たすよう職員配置を行っております。	配置基準より多い人数の職員を配置しておりますが、見守りや支援の必要性の高い児童が多く利用する日は、不足感がある日も出てくるため、人材確保をきめて継続的に実施してまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		建物自体がエレベーターなしの2階という構造のため、バリアフリー化は困難ではありますが、階段に手すりを設置しております。	建物の構造上困難な部分もありますが、今後可能な範囲で配慮するよう努めてまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			職員全員参加の定期ミーティングを実施しております。	今後も継続して実施してまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者等向け評価表を活用し、ご指摘いただいた事項については日々改善案を検討しております。	今後は保護者様向けのアンケートを実施し、業務改善につなげてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			事業所内にて貼り出しを行っております。	今後予定しているホームページのリニューアルに伴い、今回よりホームページ上でも公開させていただきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	本部等の社内評価は実施しております。	第三者による外部評価については行っておりません。今後の検討課題とさせていただきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			社外研修への参加を奨励し、社内研修も定期的に行っております。	社内研修の質向上に努め、従業員の専門性を高める取り組みを継続して行ってまいります。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			面談や送迎時にニーズ等をお伺いし、個別支援計画に反映するよう努めております。	アセスメントの頻度を上げ、利用者様の状態や保護者様のニーズの変化把握に努め、個別支援計画書作成に活かしていくことを検討してまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			利用開始時に利用者様の状況を把握するためのアセスメントを行っております。また、社内にてアセスメントツールの作成を行っております。	アセスメントの頻度を上げ、利用者様の状態や保護者様のニーズの変化把握に努め、個別支援計画書作成に活かしていくことを検討してまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			職員全員参加の定期ミーティングを実施しております。	今後も継続して実施してまいります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			社外だけでなく社内の他拠点での取り組み事例を参考に、新しい活動を取り入れ実施する工夫をおこなっております。	今後も継続して実施してまいります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			定期ミーティングで上がった課題に対しその都度検討し、支援に反映しております。	今後も継続して実施し、内容をより良いものに改善してまいります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			利用者様一人ひとりの状況に合わせた支援計画の作成に努めております。	今後も継続して実施してまいります。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			支援開始前に職員全員参加の定期ミーティングを実施し、検討しております。	今後も継続して実施してまいります。	

令和4年度  
放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）



公表：令和5年2月20日

事業所名 サンクスラボ・アフタースクール鹿児島

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	16 支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				支援終了後に職員全員参加の定期ミーティングを実施する体制を整えてまいります。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日々の支援記録を基によりよい支援につなげていけるよう努めております。	今後も継続して実施してまいります。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			職員間で定期的に支援会議を行っております。	今後も継続して実施してまいります。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			放課後等デイサービスガイドラインの基本活動に則った活動を企画しております。	放課後等デイサービスガイドラインの基本活動を複数組み合わせさせた支援を企画し、支援に反映できるよう検討してまいります。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者及びその利用者様の担当者が参加しております。	今後も継続して実施してまいります。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			学校の計画や行事予定に関する情報共有を学校と行っております。	今後も継続して実施してまいります。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○			現在、医療的ケアが必要な利用者がいらっしゃいませんが、今後、受け入れる際には関係機関との連絡体制を整えていく必要があるため、必要に応じ対策を検討してまいります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			情報共有、および資料がある場合は資料を基にした引継ぎを行っております。	今後、新たに利用となる利用者様には保護者様の同意のうえで、情報共有に取り組んでまいります。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○			現在、当事業所より障害福祉サービス事業所等へ移行された方がいらっしゃいません。支援内容は日頃からまとめていますので、必要に応じて、取り組んでまいります。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			今後、当事業における課題等を児童発達支援センター等にご相談するなどの連携を検討してまいります。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		コロナ禍のため行っておりませんが保護者様のニーズも汲み取ったうえで、今後の検討とさせていただきます。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している			○		コロナ禍のため行っておりませんが、今後機会があれば積極的に参加を行ってまいります。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳の活用と送迎時に日頃の様子をお伝えすることで、共通理解を持てるよう努めております。	日々の状況をより詳しく共通理解できるよう検討してまいります。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			保護者様のニーズも汲み取ったうえで、今後検討させていただきます。
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				今後も継続して実施し、内容をより良いものに改善してまいります。	

令和4年度  
放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）



公表：令和5年2月20日

事業所名 サンクスラボ・アフタースクール鹿児島

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者様よりご相談があった場合、面談等を通じて支援をさせていただいております。	今後も継続して実施し、内容をより良いものに改善してまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			保護者様のニーズも汲み取ったうえで、今後の検討とさせていただきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			いただきましたご意見につきまして、全職員参加のミーティングの実施や、本部との連携等を行い、対応させていただいております。	対応の体制等を十分にお伝えできておりませんので、より皆様に情報をお伝えできるよう検討してまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			インスタグラムやHP等で情報発信を行っております。	今後はアフスク新聞という会報の発行やHPの改善等に取り組んでまいります。
	35	個人情報に十分注意している	○			書類等は鍵付きのキャビネットで管理しており、写真等も保護者様のご意向をお伺いしたうえで取り扱いしております。	個人情報となる書類の管理について、より厳密に行っていけるよう検討を行ってまいります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			ご本人様に伝わりやすい方法を検討し、実施しております。	今後も継続して実施してまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			弊社のA型事業所と合同で季節イベント等を行っております。	社会的情勢を判断しながら、実施を検討してまいります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各マニュアルは策定しております。	今後はモニタリング等の機会を利用して説明を行っていくよう検討してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			消防署と連携し、避難訓練を行っております。	想定される災害等に関して行政と確認をしながら対応を検討してまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				社内で虐待防止委員会を設置すると共に、全職員への周知を行ってまいります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○			現在、身体拘束の必要性がある利用者様がいらっしゃいませんが、今後、突発的に身体拘束の必要性が生じることも想定し、研修を行ってまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			保護者様から食物アレルギー等の状況をお伺いし、対応させていただいております。	今後、必要性に応じて医師の指示書等の共有も検討してまいります。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットが起きた際、報告書を作成し、保管しております。	全職員にヒヤリハットの周知を行い、事故等につながらないよう定期的なミーティングを行ってまいります。	